

みことばの整理 (申 5:1-3)

この世は神様を離れている現場なので、とにかく一生懸命に努力することを基準としています。そして、豊かさを追求して、発展を希望して生きていっています。そのようにしているうちに、心と精神が限界を迎え、生活面でも人間関係、仕事、さまざまな面で限界を迎え、死の限界に向かっていくしかありません。子どもを幸せに育てようとしたのに、次世代への希望も限界になります。なぜこのように限界が避けられないのでしょうか。それは、人間は、一生懸命にしても満たされることのできないたましいがあるからです。たましいに穴が開いているので、どんなに豊かになっても、限界を迎えます。神のかたちとして創造された人間のたましいは、創造主の神様以外では埋めることはできません。それなのに、神様から離れて、かわりに悪魔、サタンがいるので、どんなことをしても限界なのです。神様と出会い、いっしょにいるようになること以外は答えはなく、その道はキリスト・イエスしかありません。神様とともにいるようになったすべての信者は、このような限界を迎えるしかない現場を生かす現場灯台として立てられました。その役割をまっとうするために、イスラエルの民が 40 年間荒野で整えられたように、神様が整えてくださっています。きょうの聖書箇所は、そのようにして荒野を歩いてきたイスラエルの民が、40 年間で世代交代して、これからカナン入国の前に最終的に神様がなさるのは「みことば整理」です。私たちにも、神様はみことばが整理されるように、神様が導かれています。



すべてのみことばをまとめると、十戒になります。過越の祭りを守り、礼拝をさげなさい、いけにえをましがえてはならないなど、聖なる民、契約の民ということを忘れてはならないと繰り返し教えられます。神様の目的に向かって歩む存在なので、カナン入国の前に最終的に神様がなさるのは「みことば整理」です。私たちにも、神様はみことばが整理されるように、神様が導かれています。

であることを教えられました。イエス様が来られ、山上の垂訓で、申命記で語られたことの完成形を語られました。

山上の垂訓の大前提は「**キリストの他には希望はまったくない**」ということです。これがみことばが整理されたことです。キリストオンリーであり、常にキリストです。キリストだけが答えだと忘れず、キリストに解答を求めなさいと言われます。キリストが基礎、土台で、すべてのことはその上に建てなさいと言われます(1 コリント 3:10-11)。これを刻印するために、邪魔するものがなくなるように集中しなければなりません。自分の考えや思いが思考停止して、みことばが入って行くようにしましょう。キリストの他はないと認めているなら、なにかのせいにすることはありません。

そのキリストであるイエス様が来られました。**イエスがキリストで、すべての問題は完ぺきに終わりました。**このようにみことばを整理しましょう。一回で永遠にまっとうされ(ヘブル 10:14)、神様に行く新しい生きた道ができました(ヘブル 10:20)。死の力をもって捕えていたサタンの頭を踏み砕いたまことの王です(ヘブル 2:14-15)。罪、のろい、滅びを解決して、神様に会う道を開き、サタンの頭を踏み砕かれ、すべてを解決されたイエスがまことのキリストです。このイエスを信じる信仰によって義と認められます(ヘブル 10:38、ローマ 1:17)。信じることによって、人生のすべての問題は解決します。信仰の他に付け加えることはありません。だれでもイエスの名を呼べば救われます。神様が 100%、私たちが知らない間になさいました。十字架ですべて終わらせてくださったので、それを信じる信仰だけです。

それゆえ、イエスをキリストと信じる**私は幸いな者です**(マタイ 5:3)。イエスをキリストと信じて受け入れた者には、天の御国を所有する者です。神の国が臨んでいます。すべての問題は終わり、死と罪の原理から解放され、新しく生まれて(ヨハネ 3:3)、イエスの霊である聖霊が宿り、だれも神様から私を奪うことはできません。聖霊を通して消すことのできない印を押されました(エペソ 1:13)。私たちは神の子どもで、神様をアバ父と呼べます(ロ-

マ 8:5)。イエスの霊が宿る、神の神殿です。天にあるすべての霊的祝福を受けました。これが私自身だと、だまされずに認めましょう。義と認められ、栄光に富んだ者とされ、イエスと似た者としてイエスが行われたことができる存在です。すべてのことが益となり、神様の栄光をおおいに喜ぶことができます。それが With, Immanuel, Oneness です。なにも問題になりません。信者の私は世の中で得られる幸せではない、霊的祝福を受けた幸いな者だと確認しましょう。

そして、**神様は私を暗やみの世を生かせる伝道者、世の光としてくださっています**(マタイ 5:13-14)。暗やみにいる人にキリストを伝え、神の国が臨むようにして、サタンの王国を壊していくことが生きる理由です。それゆえ、この世に染まらず聖なる者として生きなさいというのがマタイ 6章の主の祈りです。生きる方法は、祈りによって、世の中とはちがうので、聖霊の導きによって

生きます。いままでの経験に自分がだまされることのないように、過去の刻印を捨て、新しい枠を備えましょう。教会がどれほど尊く、貴重なかをわかって、教会と兄弟姉妹を愛しなさいというのがマタイ 7章です。神様が愛して用いようとしておられる人々です。

このようにみことばを整理して、内容をまとめ、自分のものにしましょう。そうすれば、いつも神様の方向に立つことができます。みことばを整理して、神様のみことばで生きる者として歩みましょう。みことばを整理して、没頭して、自分の思いがみことばの中に入ることを祈りと言います。みことばに縛られ、捕らわれ、引っ張られる人間になり、現場灯台の門が開かれるのを見るようになることを祈ります。

(<http://jremnant.com> に音声と動画が出ています)

申命記 5:1-3 御言葉の整理

なるほど/神様は、限界にぶつかって道に迷っている現場に、信者を灯台として立てて、まずキリストと伝道を中心に御言葉が整理させ、力を得るようにし、門を開かれる。ならば/御言葉を整理して、自分のものにし、常に告白出来、祈れるようにしましょう。それで、どんな状況の中でも常に神様の方向を逃さず勝利する信者になろう。

インマヌエル教会聖日メッセージ祈り文 (2019年3月31日)

1部礼拝： 失敗に見える神様の計画 (ダニ 1:8-9)

人生と強大国の滅亡の理由を知って、神様のみことばを握って、正しく決断するように祝福して下さり感謝します。別のことを握らずにただ契約を握って、契約を回復して現場を生かす現場の証人になりますように。神様が主の御使いを遣わされて、私を守られ、偶像に陥った者を生かす霊的証人になりますように。世の中の成功と食べること、出世しか知らない人を生かす時代的な証人になりますように。ただ神様のみことばだけ、ただ福音だけを握って証人の道を歩みますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。

2部礼拝： 偶像との戦争 (ダニ 3:16-18)

まことに福音を伝える教会と人として私を召され、福音を知る 0.1%の人として霊的戦争、サタンとの戦争、暗やみ文化との戦争である神殿建築をするようにされて感謝します。偶像との戦争は予想した戦争であることを知って、すでに勝った戦争に旗を刺すために行くようにしてください。キリストの人としてサタンは戦いの対象にならないことを知って、天の背景を味わいながら、当然と勝利しますように。当然と成り立つ世界福音化の祝福を味わいながら、偶像に病んでる者、237カ国とレムナントを癒す神殿を建てますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。